



## 1 プレミアム付き商品券発行事業について

コロナ禍における原油価格・物価高騰等の困難に直面する方々を支援するため、第2弾が終了する年末から3月までを期間とする第3弾のプレミアム商品券の販売を実施することで切れ目ない支援を行います。

実施は、滑川商工会議所が事業主体となり、本年度3回目のプレミアム商品券販売事業を実施するものです。なお、今回の発行総額は1億5千万円で、今年度の発行総額は4億5百万円となります。

- ・第1弾 令和4年4月から8月末 発行総額 1億5千万円（市補助）
- ・第2弾 令和4年7月末から12月末 発行総額 1億5百万円（県補助）
- ・第3弾 令和4年12月から3月中旬 発行総額 1億5千万円（市補助）

販売商品券 1冊1万円で12,000円分の商品券を12,500冊販売

発行総額 1億5千万円（12,500冊×12,000円）

プレミアム相当分 20% 25,000千円（12,500冊×2,000円：市補助金）

- \* 対象店舗は前回と同様
- \* 商品券は1枚500円券を専用券と共通券で各6,000円
- \* 共通券 チェーン店、コンビニ、ドラックストア等
- \* 専用券 市内中小事業者で加盟された店舗

## 2 キャッシュレス決済促進事業について

非接触型の電子決済の普及促進を図り、あわせて市内での消費喚起の後押しを目的として、飲食店・小売店等を応援するキャンペーンを実施するものです。

第1弾のキャンペーンは、飲食店を対象として7月1日から8月末までの2か月間の実施としています。

第2弾のキャンペーンについては、12月から1月末の実施を予定し、第1弾の対象店舗の飲食店に小売店舗等を加え、拡充して実施することとしました。

キャンペーンの実施内容については、期間中に対象店舗において指定のキャッシュレス決済が行われたときに、購入品の20%相当がポイント還元されるものです。

利用可能となる決済事業者は、第1弾と同様に、auPay、d払い、PayPayの3社とすることで、更なるキャッシュレス決済の利用促進を図ることとしました。

還元総額は30,000千円とし、ポイント還元額が予定額に達した時点で終了します。

- \*還元総額 30,000千円（当初予算分10,000千円＋補正予算分20,000千円）
- \*参加店舗 約220店舗（うち飲食店60店舗）【令和3年度実績】
- \*1回の購入に対する還元ポイントの限度額1,000円
- \*期間中における還元ポイントの限度額4,000円

## 空き家等での居住体験を通した課題発見事業 (ミライノミカタ) の応募状況等について

7月に応募を開始した県外に居住するテレワーカー等に一定期間、空き家等に滞在してもらい、本市の課題や魅力を外部の目線で発見してもらうとともに、課題の解決策や魅力のブラッシュアップの方法を提案いただく標記事業の参加者の応募状況等については、以下のとおりです。

### 1 応募者

	年代・性別	居住地	職業等	滞在（予定） 時期	滞在拠点
①	40代・女性	千葉県	フリーランス	8/13～8/29	馬町 (空き家)
②	20代・男性	東京都	教育・ITコンサルティング	9月～11月	〃
③	40代・男性	東京都	広告関係	9月下旬	北野 (定住促進住宅)
④	20代・女性	千葉県	大学院生	12月～2月	馬町 (空き家)

※ 北野（定住促進住宅）拠点での枠が残っているため、二次募集の実施を検討中

### 2 居住体験終了者の活動内容・感想等

8月28日に居住体験を終了した上記①の女性の活動内容及び滞在期間中にいただいた感想は、以下のとおり

#### <活動内容>

- ・一緒に参加したお子さんと東福寺野自然公園を散策
- ・ほたるいかミュージアムを訪問
- ・図書館で滑川に関する書籍を閲覧
- ・鮮魚店めぐり
- ・旧町部の国登録有形文化財（旧宮崎酒造、有隣庵、旧廣野家住宅、旧田中小学校）めぐり ※NPO法人滑川まちなみ保存と活用の会によるガイド付き
- ・瀬羽町の空き家を活用した店舗（雑貨店、花屋、カフェ等）での買い物、飲食 等

#### <感想>

- ・水・魚が大変おいしい。水が冷たいのに驚いた。
- ・近所の方との交流が楽しかった。
- ・美容室が少ないと感じた。
- ・宿場回廊独特の雰囲気が気に入った
- ・旧町部の文化財で音楽家による演奏会を開催したらとても素敵だと感じた。 等

### 3 今後の予定

年度末に全ての居住体験者によるオンライン発表会を実施

## (仮称) 中滑川複合施設の愛称・ロゴマークについて

滑川市では、現在、中滑川駅前エリアにおいて、中滑川複合施設を建設しており、来月末の完成を予定しています。防災機能と賑わい創出機能を併せ持つ複合施設であり、供用開始に向けた準備を進めているところです。

施設の愛称である「メリカ」及びロゴマークについて発表します。

### 1 愛称

「メリカ」

### 2 愛称の説明

- ・中滑川にあるので、「なめりかわ」の真ん中3文字をとっています。
- ・滑川の中の三文字をとって可愛らしい名前にし、親しみやすい施設となつてほしいという意味です。

### 3 ロゴマーク



### 4 ロゴマークの説明

中滑川複合施設は、富山地方鉄道中滑川駅に隣接する施設です。人々が様々な目的や想いを持って集い、出会い、広がっていく場所になってほしいとの願いを込めています。三角形のシンボルは、中滑川を訪れる人、出発する人、施設に遊びに来た人、それぞれに行き交う人々の流れや賑わいを図形化しています。

今回、建物の設計や監理業務を受けている建築設計事務所からの提案を採用したものです。

### 5 その他

市広報誌やHP等での周知に努め、指定管理者や関係機関等と連携を図ることとしています。

## 電子入札の導入について

富山県及び県内11市町による「とやま電子入札共同システム」を利用した電子入札を令和4年10月より開始します。これまでの紙による入札とは異なり、入札から開札までの一連の手続きについて、インターネットを利用し電子的に行うことができるようになります。

### 1 開始日

令和4年10月1日

### 2 対象案件

上記開始日以降に公告・指名通知を行う入札案件すべて

### 3 導入の目的

#### ①事業者の利便性向上（移動コストなどの削減）

入札会場に行く回数が減り、時間的な負担と交通費や人件費などの手続きコストの削減、利便性の向上

#### ②入札契約事務の効率・迅速化（行政サービスの向上）

入札・開札情報の公表に関する業務の効率化・迅速化

#### ③透明性の確保及び入札参加機会の拡大

幅広く入札情報を開示することで、透明性を確保するとともに事業者の入札参加機会が拡大

#### ④新型コロナウイルス感染症等対策

紙入札による出場入札とは異なり、入札参加者が集まる必要が無くなることで、感染リスク低減を図ることが可能

## 市民文化講演会について

官民連携により各分野に実績のある著名な方の講演会を実施するもので、令和4年度は元アーティスティックスイミング日本代表の青木愛氏を招いて「初志貫徹～私のシンクロ人生～」と題し、講演会を実施します。

- 1 **実施日** 令和4年10月23日（日）
- 2 **会場** 市民会館大ホール
- 3 **内容** 講師を招き講演会を開催  
〈講師〉  
青木 愛（あおき あい）  
（北京五輪シンクロナイズドスイミング日本代表）  
主な成績：  
2001年 ジュニア世界選手権 チーム2位  
2002年 ジュニア世界選手権 チーム2位  
／フリーコンビネーション2位  
2004年 スイスオープン チーム1位／フリーコンビネーション1位  
2005年 世界選手権代表  
2006年 ワールドカップ チーム2位／フリーコンビネーション2位  
ワールドトロフィー チーム2位／アジア大会 チーム2位
- 4 **日程** 14：00～ 開会挨拶（滑川青年会議所理事長 大門良輔氏）  
14：05～ 講師入場・講演会（講師 青木愛氏）  
14：50～ 質疑応答  
14：55～ サイン色紙 抽選会  
15：10頃 終了予定
- 5 **その他** 感染症対策として、定員を400人とする。講演後に質疑応答やサイン色紙抽選を予定。

主催／滑川政経同友会、（一財）滑川市文化・スポーツ振興財団、  
（一社）滑川青年会議所

# 市民文化講演会

テーマ **初志貫徹**

～私のシンクロ人生～

2022年

**10月23日** 日

開場13:00 開演14:00

滑川市民会館 大ホール

定員 400人

入場  
無料

講師

元アーティスティックスイミング  
日本代表

**青木 愛氏**

主な  
経歴

- 2006年・ワールドカップ  
チーム 2位  
フリーコンビネーション 2位
- 2007年・世界選手権  
チーム(フリー) 3位  
チーム(テクニカル) 2位  
フリーコンビネーション 2位
- 2008年・北京オリンピック  
チーム 5位

- 主催 / 滑川政経同友会  
(一財)滑川市文化・スポーツ振興財団  
(一社)滑川青年会議所
- 後援 / 滑川市教育委員会、北日本新聞社、Net3

お問合せ

(一社)滑川青年会議所

〒936-0065 富山県滑川市下島167-75  
TEL:076-475-2158 FAX:076-475-8828

(一財)滑川市文化・スポーツ振興財団

TEL:076-476-9120 FAX:076-476-9121  
<https://bunspo-namerikawa.jp>

新着情報へ



新型コロナウイルス感染  
拡大防止のためのお願ひ

- 「マスク着用」や「咳エチケット」にご協力ください。
- 咳、のどの痛み、だるさ、発熱などの体調不良を感じる場合にはご来場をお控えください。
- ※ 感染症拡大防止のため、公演が中止になる場合があります。最新情報はHPをご覧ください。

## 第 23 回滑川薪能について

滑川の薪能は、平成元年に第 1 回を開催以来、中断を経て昨年度で第 22 回目を迎えました。継続して開催することで市民に鑑賞する機会を提供するほか、世界無形文化財である能楽に直接触れ合える場を作るものです。

今後も世代を問わず多くの方々に日本の伝統芸能文化に触れていただき、地域恒例の行事として根付かせたいと考えています。

重要無形文化財指定保持者ら、中央で活躍する能楽師らとの能・狂言に直接触れる機会は多くはありませんが、本年も金沢能楽会のご協力を得て富山県宝生会・滑川薪能実行委員会の主催行事として開催するものです。

1. 開催日時 令和 4 年 9 月 23 日（金・祝） 開演：午後 4 時
2. 開催場所 市民会館大ホール
3. 主な内容
  - 第一部 富山県宝生会会員による素謡（すうたい）・仕舞（しまい）  
火入れの儀（午後 5 時予定）
  - 第二部 佐野弘宜氏による「狂言・能」の解説  
狂言「棒縛り（ぼうしばり）」、能「杜若（かきつばた）」

## 第 25 回滑川ほたるいかマラソンについて

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止または規模を縮小して開催しましたが、今年度は、従来規模での開催を予定しています。

開催にあたり、感染防止マニュアルの作成、引き続き感染症対策を講じながら準備を進めたいと考えています。

- 1 **開催日** 令和 4 年 10 月 9 日（日） 9：00～  
※12:00 に交通規制解除
- 2 **会 場** スポーツ・健康の森公園 陸上競技場（スタート・ゴール）
- 3 **種 目**

ハーフ競技	定員 2,000 名（一般）	参加費 5,000 円
10km 競技	定員 500 名（一般、高校生）	参加費 4,000 円
3 km 競技	定員枠なし（中学生以下）	参加費 1,500 円
1.8km エンジョイ	定員枠なし（男女問わず）	参加費 1,000 円
- 4 **申込期間** 令和 4 年 8 月 12 日（金）まで
- 5 **最終申込者数**

ハーフ競技	1,459 名
10km 競技	279 名
3 km 競技	76 名
1.8km エンジョイ	75 名
	計 1,889 名
- 6 **スペシャルゲスト**

2010 年世界ハーフマラソン出場選手 磯野あずさ  
お笑い芸人「クマムシ」 佐藤大樹  
箱根駅伝、ニューイヤー駅伝出場 及川佑太  
富山マラソン 2016 年優勝 大野颯  
富山マスターズ陸上競技連盟会長 田中寿美子